

関門海峡におけるポートマネジメントと港湾観光の施策 (関門海峡港湾観光連絡協議会)

実施地域

福岡県北九州市、山口県下関市

事業期間

令和4年5月～令和5年1月(予定)

事業概要

北九州市・下関市の2つの自治体に跨る関門海峡エリアにおいて、2地域間の観光実態を把握したデータ基盤の構築とエリア一体でのマーケティングの実現を目指す。

県・運輸局が異なることもあり、これまで、関門海峡エリアで動態・消費等の観光分析が行われたことはなかった。一方、旅行会社・電鉄会社において、北九州・下関をまとめた商品造成を行っており、観光客においても、北九州・下関は一体観光エリアとして認識し、周遊がなされていた。

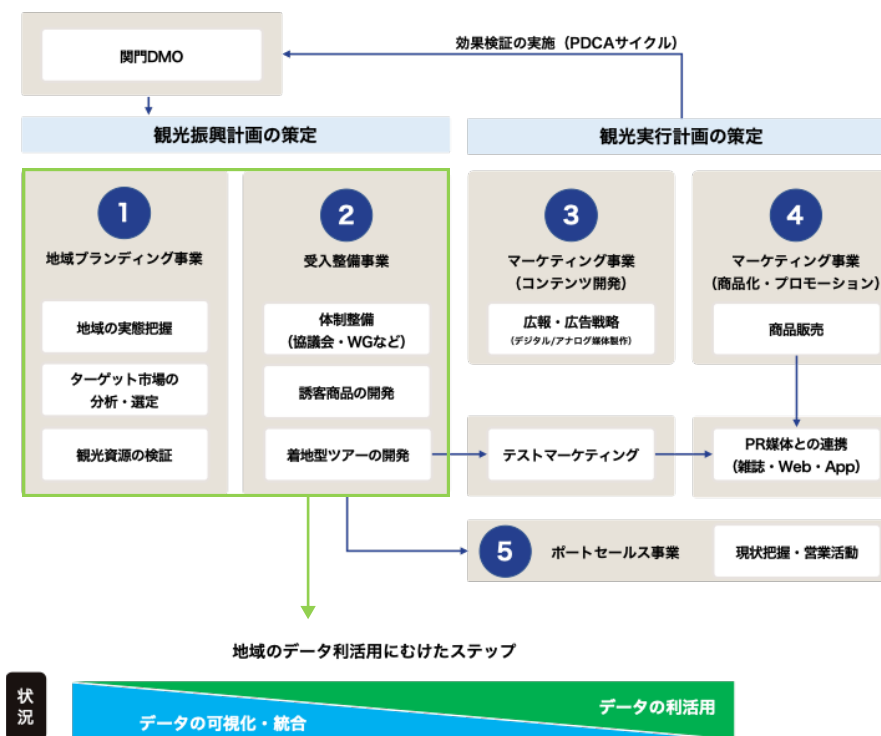
そこで、関門海峡エリアにおける観光戦略の立案とマーケティングの強化を目指して、両地域の観光客の行動・旅行経路や個人の趣味嗜好を把握するべく、Wi-Fiパケットセンサを駅・空港・港・街中の合計65箇所に設置し、ミクロなデータの取得・分析を実施する。

併せて、来訪する観光客に情報発信を行うことが可能なプラットフォームについても構築し、「会員基盤のシステム」「チケット等の販売機能」を組み込み、エリアが直販して収益化できる仕組みづくりを実施する。

実施体制

地方公共団体等：北九州市、下関市

観光等事業者：(一社)海峡都市関門DMO、(株)ナビタイムジャパン、
(株)JR西日本コミュニケーションズ



関門海峡エリア版CMS/SRMの構築